

スタート



正面軒下に残る
「マーク」に
昔の面影が。

景 昭和15(1940)年建築

2 旧石山郵便局 (ぼすとかん)

地元の軟石で造られた地域のシンボリック建物。昭和48年に郵便局の役割を終えて、現在は会社の事務所や多目的スペースとして活用されています。

見学 内覧可(事前に(株)大典☎090-8374-6787に連絡が必要)

所在地 南区石山2の3

3 旧石切山駅 (石山振興会館)

昭和44年まで運行していた定山溪鉄道の、現存する唯一の旧駅舎。現在は地元商店街振興組合が所有し、朝市や高齢者サロンなどの会場として活用しています。

見学 内覧可(午前10時～午後5時。
土・日曜、祝・休日を除く)

所在地 南区石山1の3



景 大正7(1918)年建築

↑朝市は毎月第1・第3土曜午前9時～10時に開催

駅舎の時代を知る人にとって、この建物は当時のにぎわいを伝える掛け替えのないもの。5年前の改修工事も、費用の大半を地域からの寄付で賄えたほどです。この建物を通して、もっと多くの人に石山の歴史や魅力を知ってもらいたいですね。

ひないけみつ
石山商店街振興組合 比内武光さん



建物左脇の
旧石山サイレン塔は
昭和30年製。



景文 明治20(1887)年建築

展示室や
裏手の洋風テラスも
クラシックな雰囲気。

1 エドウィン・ダン記念館

明治時代、広大な牧場だった真駒内に北海道庁種畜場の事務所として建築。現在は、畜産の基礎を築いた米国人エドウィン・ダンの業績や開拓の記録を展示する記念館となっています。

見学 内覧可(午前9時30分～午後4時30分。11/3までは水曜を除く、11/4～来年3/28は月曜～木曜・年末年始を除く)

所在地 南区真駒内泉町1

南区

真駒内～簾舞コース

真駒内は牧場、石山は採石場、簾舞は交通の要所—地域ごとに独自の歴史を持つ南区。豊かな自然の中に、当時の面影を残す建物を訪ねてみませんか。



歴史と
自然を
満喫
しよう

地下鉄
真駒内駅

4 旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)

沿道を行く人馬のために開拓者が設置した通行屋と、増築した農家住宅から成る建物。毎年9月下旬に「簾舞通行屋まつり」が行われるなど、今も地域に親しまれています。

見学 内覧可(午前9時～午後4時。月曜(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始を除く)

所在地 南区簾舞1の2

地域の歴史を伝える
写真や道具類を
多数展示。



文 明治5(1872)年建築

ゴール

地域を
美しくする
取り組み

札幌南シーニックバイウェイ



ラベンダーによるまちづくりを行っている南沢。ラベンダーは7月中旬が見頃(写真は南沢3の4付近)。

シーニックバイウェイとは、地域が持つ美しい景観や魅力をつなぎ、よりよい環境をつくる取り組みのこと。南区では、町内会や商店街、大学などが連携し、花植えやスタンプリナーなどを通して地域の魅力を高めています。



これまで、南区の歴史スポットや恵まれた自然を堪能できるツアーなどを企画してきました。今は、区内の見どころ17カ所を巡ってスタンプを集めると、抽選で温泉宿泊券などが当たるラリーを実施中。これをきっかけに、ぜひ南区の魅力を発見してほしいです。

札幌南シーニックバイウェイ事務局
ふなきりか
船木利香さん

※スタンプラリーは10/31(月)まで実施。台紙はエドウィン・ダン記念館、旧黒岩家住宅などで入手できます